みんなの力で平和と福祉ゆたかなまちをきずこう
しあわせ

発行日　2022年10月
発行所　社会福祉法人　大阪福祉事業財団
（障がい児入所施設）豊　里　学　園
（障がい者支援施設）あさひ希望の里
（乳　児　院）　すみれ乳児院
発行責任者　豊里学園　園長　山中　ひろみ
大阪市旭区太子橋1-16-24
TEL：(06)6951-2066　FAX：(06)6951-2541
豊　里　学　園　URL　http://toyosatogakuen.com
あさひ希望の里 URL　http://asahikibounosato.com
すみれ乳児院 URL　http://sumirenyuujiij.com

語り合う　感じ合う　築き合う
zaidan osaka

地域の方々に支えられ成長していく子どもたち

地域の方で、長年ボランティアとして豊里学園の子どもたちと関わって頂いている『ヘアーサロンMITSUWA』の平田さんと、『Daruny for hair』の木下さん。

平田さんは、10年以上前から月1回ボランティアとして、子どもたちの髪の毛をカットしに来て頂いています。きっかけは、豊里学園で働いていた職員が、平田さんの美容院の常連客で、「是非、学園の子どもたちの髪の毛を切りに来て頂けないか」というお願いから、平田さんご自身のお子さんがダウン症ということもあり、自分も力になれるのであれば協力しようと思った、と仰っていました。

木下さんは、平田さんが声を掛けてくださり、10年前からカットボランティアに参加をしてくださいました。

最近では、座ってカットできる子どもが増え、平田さんや木下さんに「ここを短くしてほしい」「こんな髪型にして欲しい」と子どもから要望を伝え、相談しながらカットしてもらう姿もよく見られます。

平田さんは、カットを通して子どもたちと関わることも楽しく、関わり自体を持てることがとても大きいとの事で、勉強にもなると笑顔で話しをしてくださいました。

プロの腕前、平田さん
かっこよく切って頂きました

木下さんは、お店に比べて明るさが足りず、100%の力が発揮できないことがもどかしい、と話されており、子どもによってはお店でのカットも可能だと思う、本人にとって社会経験を積むことになるのでは、と仰ってくださいました。

平田さん、木下さんは今後もカットボランティアは続けてくださるそうです。地域の中の豊里学園として、子どもたちと関わってくださり、支えられ、子どもたちは成長させて頂いていると、感謝の気持ちでいっぱいです。

（豊里学園　屋良・安田）

季薫

近年残暑が長続きして、過ごしやすい秋を感じることが短くなりました。またコロナ禍の為、なかなか外出しにくくなりましたが、秋と言えば食欲・読書・芸術がよく言われ、こちらは家でも満喫できます。また感染対策ができていれば、過ごしやすい気候なのでスポーツで身体を動かしたり、ライトアップされた紅葉を見に行くのもいいですよね。都会から離れ、虫の鳴き声を聴いて過ごすのも素敵です。短いからこそ楽しみが凝縮されている秋。感染を気にせず、皆が笑顔で過ごせる日が早く来ることを願っています。

（あさひ希望の里　佐藤）

すみれ乳児院

みんなで楽しい避難訓練

すみれ乳児院では、年に２回旭消防署立ちの火災訓練を行っています。いつもは子どもたちと職員で行う避難訓練ですが、この日は凛々しい消防士さんも数名いるので、子どもたちもドキドキです。

子どもたちも訓練に参加し消火器の使い方を教えてもらいました。①栓を引いて②ホースを持って③レバーを握る水がピューピュー出てくるのが面白く、一生懸命、何度も訓練しました。

一生懸命　訓練中

大きな消防車にドキドキ

そのあとは、消防車と記念撮影をさせてもらいました。普段絵本で見ている消防車を目の前にし、運転席にも乗せてもらいました。

嬉しそうに笑う子、びっくりして泣き出してしまう子、これはなんだ？と触って確かめる子もいました。

いつもの避難訓練とは違い、ドキドキわくわくな楽しい訓練が出来ました。

（奥林）

豊里学園

「これ見て！きれーい」彩りの夏の夜

夏休みの取り組みとして、花火をしました。コロナ対策も兼ねて少人数で各フロアに分かれて行いました。

花火をする数日前から子どもたちは「どんな花火がある？」「打ち上げ花火はある？」「キティーちゃんの花火はあるかな？」とドキドキワクワク、とても楽しみにしていました。

いざ当日、みんなで約束事（人に花火を向けない・みんなを思い合って楽しく過ごす等）を確認し運動場へ。職員が見守る中、子どもたちは思い思いの花火を手に持ち、「ピンク色の花火だー」「きれい！」と満面の笑顔。子どもたちの様子に、職員はとても嬉しくなりました。

締めの噴き上げ花火では歓声があがり、子どもたちも職員も花火に見とれていました。

線香花火に「きれ～い」としみじみ

様々な彩りに「わ～」と笑顔

参加していない子どもたちも上の階から眺めており、花火をしている子どもだけが楽しむのではなく、園全体で子どもたちが楽しんでおり、とても良い雰囲気でした。

花火は夏の風物詩、子どもたちが笑顔になる花火。来年も是非実施したいです。

（山口）

あさひ希望の里

みんなで学ぶコロナ対策

８月に利用者自治会主催でコロナの感染症対策の学習をしました。自治会役員でどのような学習をしたいか相談し、マスクの付け方、手洗い方法、ソーシャルディスタンスについて学びたいという意見がでました。

事前に役員で学習を行ない、当日グループごとに紙芝居や動画を利用しながら、実際に手洗いの真似をするなどの実践もして、皆で学び合いました。

（増口）

紙芝居で分かりやすく説明

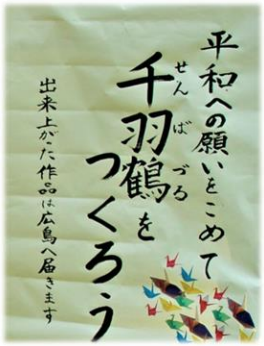
利用者が講師になりました

新しいまつりへ

10月30日(日)　11時～15時

あさひ福祉まつりは40年以上の歴史ある地域のまつりです。城北公園にくると秋の風物詩の一つとなり、この時期の公園は、秋色の木々に囲まれ人々が集うのには最適な空間となっていました。ここにくるとおいしい食べ物の模擬店や地域の方々の舞台発表が繰り広げられました。あさひ福祉まつりならではの掘り出し物があったりお目当てのものを探したりと様々な楽しみがありました。

２０２０年以降、コロナウイルス感染症がこの四季折々の風景を変えてしまったことは言うまでもありません。２０２０年度は中止、２０２１年度は冊子作製と取り組んできました。



第40回 平和への願いをこめて

２０２２年６月に開催した43回あさひ福祉まつり実行委員会では、こまれつまりでの絶やしてしまったつながりを求めこと、また新しい形をいこを縮小し、今回は規模を縮小した形で取り組みを考えました。

第40回　模擬店

40周年記念　エアートランポリン

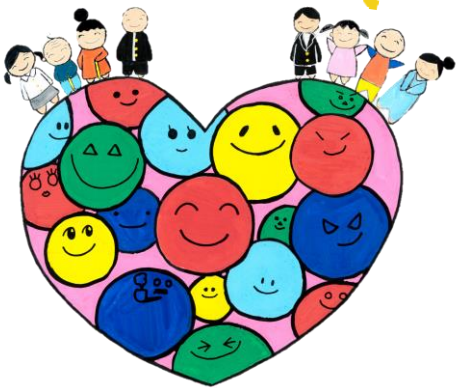
今年度は、実行委員団体を中心に大阪市立旭区民センターの小ホールで展示を中心に、映像、事業所紹介を予定しています。

現場や子どもたちの環境、生活支援を行っている事業所など私たちが置かれている現状を訴えるポスターを作成しました。

まつりを通じて医療や取り組み、命の大切さも平和の問題にも平和の尊さを次の世代に伝えていくことが第一歩だと考えます。

この長い歴史をつないできたあさひ福祉まつりを新しい形で取り組んでいきたいと思います。

（あさひ福祉まつり事務局長　菅野）


あさひ福祉まつりポスター

後援会入会のお願い

大阪福祉事業財団後援会では、施設利用者と地域の方々の生活と権利を守り、発展させていく事がますます重要になってきていると考えます。

子どもからお年寄りまですべての人が守られる社会福祉の実現に向けてご協力・ご支援をお願い申し上げます。

個人会員：1口　3,000円
団体会員：1口　10,000円

お申し込みは

お近くの大阪福祉事業財団 各施設へ

月間「福祉のひろば」購読のお願い

あなたも研究所の会員になってともに学び研究し、全国の環(わ)をつくりませんか。全国各地の実践や社会福祉・社会保障の最先端情報が満載の月刊誌です。

福祉を守り発展させるためにともに学びあいましょう。

1冊：550円　年間6,600円

お申し込みは

お近くの大阪福祉事業財団 各施設へ
ご希望の方には、見本誌をご用意しております。

しあわせレシピ

豊里学園　調理員　坂西

おにまんじゅう

【材料】（4人分）

- さつま芋（皮付き）　100g
- 小麦粉　50g
- 黒糖　20g
- ベーキングパウダー　1.2g
- 水　25g
- 塩　ひとつまみ

【作り方】

① さつま芋を1㎝角に切っておく
② 小麦粉・黒糖・ベーキングパウダー・水・塩をボールに入れ混ぜる
③ ②にさつま芋を入れ混ぜる
④ ③を4等分し丸めて成型する
⑤ 蒸し器で15分蒸して完成

このお菓子は、ごつごつした見た目が鬼の金棒や頭に似ていることから『おにまんじゅう』と呼ばれるようになりました。

こどもたちは、見たことのないおやつだったので、不思議そうに見つめていましたが、食べると「おいしい!!」とびっくり笑顔になりました。

わが町　お店探訪

入江薬局

新型コロナ感染が猛威をふるう中、薬局における役割は沢山あります。地域密着型薬局として、地域の皆様に愛され、頼られる薬局でありたいと思っています。お薬の配達や在宅訪問も行っております。ご相談ください。

住所　大阪市旭区今市1－5－19（今市商店街中程）
電話番号　06－6952－0224
営業時間　月～金 9:00～19:00
　土　9:00～17:00
定休日　日曜日･祝日

大阪福祉事業財団2023職員募集のご案内

『生きるを支える』

大阪福祉事業財団では、2023年4月採用の正規職員を募集しています。

子どもから障害者、お年寄りまで幅広い施設があります。いのちと健康を大切にする、人とひとのつながりを大切にする仕事をともに作り上げてくださる方をお待ちしています。

くわしくは、法人のホームページ、またはお近くの大阪福祉事業財団各施設へお問い合わせください。

ご寄贈･ご寄付ありがとうございました
《2022年　7月～9月》

（敬称略・順不同）

豊里学園

【寄贈】
竹内市郎　三和商事株式会社 松村 有格
入江薬局　井原 直美　寺尾 修

すみれ乳児院

【寄贈】
（株）プランニング 八尾満　久岡直貴
（株）明治　圀府寺美　成瀬仁音
小島医院 小島崇嗣
杏林製薬　小山 類　天野久子
阪急阪神百貨店労働組合　佐伯知衣子
藤沢 実
【寄付金】
全国社会福祉法人経営者協議会

あさひ希望の里

【寄贈】入江薬局　【寄付金】家族会